



## 人

本郷

内村 うちむら

彩華さん あやか (28歳)

### 皆さんに信頼される身近な保健師に

今年4月1日に役場に奉職し、町の保健師として働いている内村彩華さん。

内村さんは、道東の浜中町出身。小さい頃から人と関わる仕事がしたいと思っていたそう。「地元の浜中町で友人のお母さんが保健師をしていて、その姿を見て、子どもから大人まで幅広い年代の人と関わることでできることや、たくさんの人と触れ合い、皆さんが健康に過ごせるようお手伝いする仕事だ」ということを知り、保健師になろうと決めました」と話す。

大学卒業後、念願の保健師となり浜中町役場に4年間勤めたが、保健師の仕事を見つめ直し、自分の力をさらに磨きたいと考え大学院に進学。卒業後の進路を考えていた頃、恩師の勧めもあって憧れの保健師がいる厚真町に興味を持ち、「人口は少ないけれど、その分つながりの強さを感じることができる」と思い、

厚真町で働きたいと思いましたが「た」という内村さん。保健師として人と関わる中で、相談が続けてくれた方の健康状態に変化が見られたときや、乳幼児期のお子さんがいる親御さんが心を開いて相談してくれたときなどに「自分の思いが伝わった」と、やりがいと喜びを感じるそう。

また、町民の健康を第一に考え「老若男女を問わず、健康で過ごすための手助けができる、信頼される身近な保健師になることが目標です。そのためには、まずは顔と名前を知ってもらふことから始めて、少しずつ皆さんとの信頼関係を築いていきたいですね」と抱負を語る。

仕事以外でも、町の人たちと関わりやつながりを持ちたいと「英会話教室への参加や、高校時代から始めたバレーボールで町の人たちと一緒に汗を流して交流するなど、いろいろなサークル活動にも積極的に参加しています」と笑顔で話す内村さん。「厚真町民としては新米ですが、皆さんとの対話や活動を通して皆さんのことを学ばせてもらい、早く厚真町になじんでいきたいです」

## ぼうさい

## 防災

### ④ 祭りと防災の意外な関係

6月7日と、お祭りの続く季節となりました。実は祭りに熱心に取り組む地域は防災力が高いといわれています。なぜでしょうか。

お祭りは、非日常の楽しい出来事です。まず組織を作り役割を決め、必要な資機材や段取りを準備します。当日はマニュアルを元にしつつ、予想外の出来事には、その都度判断し対応します。回を重ねるごとに、予想されるトラブルを未然に防いだり、迷子など、よくある事態には慌てず対応できるようになります。

一方、災害は予測困難な非日常の事態です。あらかじめ準備をしつつ、非常時にはマニュアルを元に、でもたいていは臨機応変の対応をします。災害の多い地域では経先回りの対応や、熟練の対応ができます。しかしたいていは、経験が少ない中での対応を強いられます。だからこそ、日頃の備え、訓練が求められます。

非日常への対応という点では、お祭りや災害に共通点があります。さらに、お祭りに熱心に取り組む地域は、地域課題に対しても「わがこと」として取り組むので、防災活動もさかんになるといわれています。厚真町は地域力も潜在的な防災力も高いと予想しています。今後の活動の中で、その防災力を引き出すお手伝いをしていきたいと考えています。

(文：町防災アドバイザー 定池祐季)

#### ■プロフィール

定池祐季 (さだいけ ゆき)

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター (CIDIR) 特任助教。

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



#### ■ 今月の内容 ■

- ☒ 防災コラム・人口・世帯数 … 2
- ☒ I LOVE あつま … 3
- ☒ 田舎まつりフォトスケッチ … 4～6
- ☒ 節電にご協力をお願いします … 7
- ☒ 平成27年第2回定例町議会 … 8～9
- ☒ 介護保険制度改正のお知らせ … 10
- ☒ 後期高齢者医療制度のお知らせ … 11
- ☒ 地域防災マスター認定研修会のご案内 … 12
- ☒ 年金情報流出を口実にした「振り込め詐欺」や「個人情報の搾取」にご注意ください … 13
- ☒ 厚真町・胆振東部消防組合採用試験 … 14
- ☒ 町道交通整備のお知らせ … 15
- ☒ 気象台からの防災メモ … 15
- ☒ まちの話題 … 16～19
- ☒ みんなの広場 … 20～21
- ☒ まなびや … 22～23
- ☒ 健康情報・ほけんの掲示板 … 24～25
- ☒ 情報ひろば … 26～27

#### ■ 今月の表紙

6月20日・21日の両日、第43回あつま田舎まつりが開催され、2日間で延べ25,000人が来場し、ステージイベントや厚真の味覚を楽しむ来場者でにぎわいました。



前夜祭の厚真郷芸保存会の太鼓演奏では、迫力ある素晴らしい演奏に、客席から大きな拍手が送られていました

2015(平成27)年7月  
NO. 755

6月30日現在の人口  
4,708人(前月比-7)  
男 2,317人 / 女 2,391人  
世帯数 2,131(前月比+9)